

# 高津発 日本改革

民主党川崎市議会議員団ニュース  
2009年1月号 No. 50

(高津事務所)  
〒213-0033 川崎市高津区下作延2-8-57 エスビル4階  
(溝口駅南口側下車徒歩2分 高津区役所隣り)  
電話 044-855-1479 FAX 044-855-1489  
(民主党川崎市議会議員団 控室)  
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1 川崎市役所第2庁舎  
電話 044-200-3355 FAX 044-245-4135  
http://www.horizoe.com E-mail:horiken@horizoe.com

民主党川崎市議会議員団 ほりぞえ健事務所

## 「政治の年」2009年を迎えて

(事務局)

昨年秋からの厳しい経済状況の中、新しい年を迎えました。今年、総選挙と川崎市長選挙が予定されています。昨年、本市では選挙がありませんでしたから、本年は選挙の年となりますね。

(堀添)

そうですね。7月には東京都議会議員選挙があり、来年には横浜市長選挙、参議院議員選挙も行われますから、しばらくは選挙が続くこととなります。しかし、今年は、単に選挙が多いという以上に、政治が注目される年になると思います。

まず第一に、日本の戦後初めて、選挙によって政権が変わる可能性があるということです。今までも「政局」による政権交代はありました。しかし、選挙を経ていない、国会内だけの「政権交代」では、結局のところ大きな改革はできません。さまざまなハードルを乗り越え、改革を実現するためには、やはり国民の民意が明確に示される必要があります。そのためにも、来るべき総選挙においては、政権を争う与野党の双方が、明確なマニフェスト、政権公約を示す必要があります。

そして第二に、これは第一にあげた内容と矛盾するよう感じられるかもしれませんが、その選挙の結果がどうであったとしても、おそらく選挙後には今までにない大きな改革が実行されることになるということです。言い換えれば、民主党を中心とする野党が政権を担うことになればもちろんのこと、政権与党の側が過半数を確保したとしても、これまでの日本の政治のあり方は根本的に転換せざるを得ない、ということです。

(事務局)

政権与党の側が過半数を獲得したとしても、政治のあり方が変わるというのは、どうしてでしょうか？

(堀添)

多くの国民が麻生政権に対して不支持を表明している理由は为什么呢。私は、官僚主導で政治が機能していないことが、誰の目にも明らかだからだと思います。官僚主導政治を言い換えれば、各省庁が、国益ではなく、自らの「省」益を最優先とする政治、ということです。

各省庁も組織ですから、自らの組織の維持・発展をめざすことは、ある意味当然かもしれません。しかし、そうした動きに

川崎市議会議員 <sup>けん</sup>ほりぞえ健



- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブーンイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- まちづくり委員会所属。
- ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟 共同代表
- 民主党県連 政策調査会事務局長
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女(高校3年)の3人家族



(次ページに続く)

対し、国民の意志を反映した「政治」がきちんとコントロールできなければ、民主主義は機能していないこととなります。

まさに「むきだしの省益」に、総理も政権与党も対抗することができないばかりか、調整すら難しい現状が、国民の目にも明らかとなっている。こうした状況を根本的に変えることができなければ、政権与党の側が総選挙で多数を得ることはできないと、断言できる状況ではないでしょうか。

(事務局)

どのように変わるということですか？

(堀添)

一言でいえば、政治が官僚をコントロールできる仕組みを構築するということです。民主党は、100名の国会議員を各省庁に送り込むとともに、事務次官や局長などの幹部職員に対する人事権を大臣が持つという方針を示しています。現在は、各省庁のトップである大臣でさえ、実質的に人事権を持っていないということは、ある意味驚くべき状況であると思います。おそらく政権与党が総選挙で勝つためには、ほぼ同様の政策を打ち出すことが必須ではないでしょうか。

(事務局)

政治が官僚をコントロールできると、なぜ大きく変わるのですか？

(堀添)

官僚の人事評価は、内閣・大臣が示した政策を実行・実現できたかどうか、という指標によって行われることとなります。このことは、川崎市はもちろん、ほとんどの地方自治体においては、当たり前のように行われていることです。

それに加えて、予算の組み方が根本的に変わることが、さらに大きな変化をもたらすことになると思います。

現在の国家予算の組み方は、基本的に各省庁が事業を積み上げることによって行われます。各担当者が個別事業の予算を組み、その予算を課、部、局でまとめ、それを集約したものが各省の予算となります。こうしたボトムアップ型の予算編成は、定常的な社会、右肩上がりの状況の中では、効率的に機能しますが、現在のように大きく社会環境が変化している状況の中では、機能不全につながりかねません。

今必要なのは、政治が明確な理念を示し、その理念を実現する政策を形作り、その政策を具現化する施策に展開し、事業として具体化をする、というトップダウンの予算編成で

はないでしょうか。

そして、どういう順番で予算をつけていくのか。その優先順位を示すのがマニフェストの役割です。

(事務局)

川崎市にとっては、どのような影響がありますか？

(堀添)

民主党が政権を担うことになればもちろんですが、現在の政権与党が引き続き政府を運営することになったとしても、国と地方自治体との関係も変わることになるでしょう。もちろん、変化のスピードに違いは出てくるとは思いますが。

現在のような、中央官庁による一律的な基準にもとづく補助金行政では、財政的にも持続が難しくなっていることは、中央官庁の官僚自身が一番よくわかっているのではないかと思います。

川崎市は人口増の影響もあり、平成21年度も今年度並みの予算規模を維持できる見込みとなっていますが、こうした自治体は全国的には例外です。とりわけ、法人からの税収が大きな割合を占めている都道府県財政は、まともに予算が組めない状況に近いのではないかと思います。

しかも、この状況は、今しばらく続きます。短期的にはともかく、中長期的には、地方自治体の予算規模は縮小していきますから、より有効な税金の使い方、地域ごとに地域の実情やニーズに合った予算配分が必要です。そのためには、事業別のひも付き補助金行政から、一括交付金等による仕組みへと変えざるを得ないだろうと思います。

その意味でも、平成22年度予算の組み方は、今までのやり方と比べて大きく変わるようになるのではないのでしょうか。

(事務局)

ありがとうございました。

(2009年1月28日)



## 「新春 市政報告の集い」のご案内

日時:2009年2月21日(土)

午後3時半開場 午後4時開会

場所:春夏秋冬 津田山茶寮

JR南武線 津田山駅より徒歩3分

(踏切を渡り、線路とマックスバリューの間の通路が近道です。)

会費:3,000円(飲食代を含みます。)

## 北川正恭 前三重県知事 とのビデオコラムが公開!

北川正恭ビデオコラム第42回 地方議会不要論を問う

[http://www.senkyo.janjan.jp/senkyo\\_news/0901/0901100086/1.php](http://www.senkyo.janjan.jp/senkyo_news/0901/0901100086/1.php)

北川正恭ビデオコラム第43回 混乱続く国政に地方議員が物申す

[http://www.senkyo.janjan.jp/senkyo\\_news/0901/0901190710/1.php](http://www.senkyo.janjan.jp/senkyo_news/0901/0901190710/1.php)



